

報道関係各位

文化庁メディア芸術祭 北九州展 「HELLO, WORLD」 開催のご案内

文化庁メディア芸術祭はアート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門において優れた作品を顕彰するとともに、受賞作品の鑑賞機会を提供するメディア芸術の総合フェスティバルです。

これまでの受賞作品を中心に展示・上映する、文化庁メディア芸術祭 北九州展「HELLO, WORLD」を、令和2年10月9日(金)～10月18日(日)までの10日間にわたって開催いたします。

今回の展覧会では、かつて世界との距離を埋め、文化や情報が行き交い、栄華を極めた門司港にメディア芸術を結集し、優れたメディア芸術との気軽な出会いの場を提供します。未知の世界との出会いが、新たな扉を開く体験になる、メディア芸術の扉を開く展覧会を目指します。

文化庁メディア芸術祭 北九州展 「HELLO, WORLD」

英文表記：JAPAN MEDIA ARTS FESTIVAL in KITAKYUSHU -HELLO, WORLD-

○会期：

令和2年10月9日(金)～令和2年10月18日(日) <10日間>

○会場：

旧大連航路上屋 [北九州市門司区西海岸1-3-5]

○主催：文化庁

○共催：北九州市

○キュレーター：中谷 日出

科学文化芸術ジャーナリスト
元NHK解説委員(現:日本記者クラブ所属)
グッドデザインフェロー
東京国際工科専門職大学 教授

○観覧料：無料

○企画・運営：凸版印刷株式会社

○HP：<https://kitakyushu2020.j-mediaarts.jp/>

※最新情報や詳細などは、公式サイトに順次掲載します。

○本件に関するお問い合わせ先：

文化庁メディア芸術祭 北九州展 企画運営事務局 (凸版印刷株式会社内)

TEL: 093-541-2528 (平日10:00～18:00)



展覧会テーマ

HELLO, WORLD

メディア芸術の扉をひらく

かつて世界に開かれた門司港で、
最新のアートに出会い、楽しく知るための、メディア芸術の扉を開く展覧会。

世界との出会い、広がる可能性。

北九州市門司港は、明治から大正、昭和にかけ、国の特別輸出港として世界に開かれ、大陸貿易や大陸航路・欧州航路の客船の往来で賑わい、最も華やかな時代を迎えました。

大陸との玄関口として、名前も知らない異国文化が目まぐるしく行き交いすれ違っていくなかで、様々なものが**出会い、交わり、融合し**、この地のオリジナルな文化として**根付いていった**のです。

再び、新しい“世界”に触れる場を。

メディアテクノロジーの発達とともに「情報」はいま、かつての門司港以上に大きく世界へと開かれています。名前も知らない人や文化、情報が、世の中にあふれかえる時代となりましたが、創造・発展の本質は「**出会う＝触れる・知る**」という**コミュニケーション**であることに変わりありません。

今回の展覧会では、かつて世界との距離を埋め、文化や情報が行き交い、栄華を極めた門司港に、メディア芸術を結集し、優れた芸術との気軽な出会いの場を提供します。

未知の世界との出会いが、**新たな扉を開く体験**になる、メディア芸術の扉を開く展覧会を目指します。

下記3つのコンセプトに基づいて、次項からの作品を展示いたします。

- ①**北九州の扉**.....親しみやすさを感じられる、北九州にゆかりのある作品。
- ②**新たな扉**.....最新のメディアアートである、第23回の受賞作品。
- ③**開かれた扉**.....ハイコンテクストな鑑賞を必要としない作品。

主な展示作品(予定)



第23回アート部門 優秀賞

between #4 Black Aura
メディアインスタレーション

ReKOGEI (代表者：石橋 友也) [日本]



第23回アート部門 優秀賞

Two Hundred and Seventy
メディアインスタレーション

Nils VÖLKER [ドイツ]

※アーカイブ映像の展示を予定。

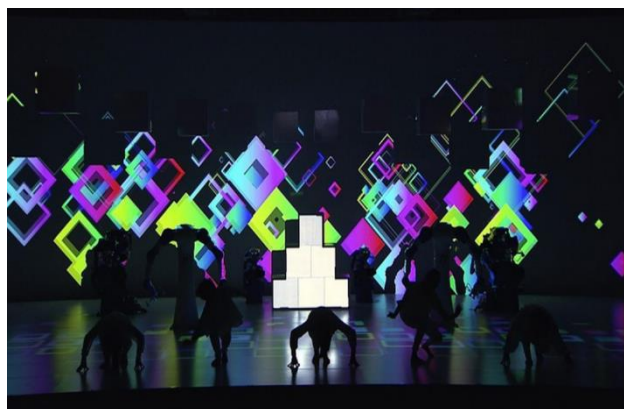


第23回アート部門 優秀賞

Ferriscope
映像インスタレーション

Bull.Miletic [ノルウェー/米国]

主な展示作品(予定)



©YASKAWA × Rhizomatiks × ELEVENPLAY

第19回エンターテインメント部門
審査委員会推薦作品

YASKAWA × Rhizomatiks × ELEVENPLAY
パフォーマンス

真鍋 大度/M I K I K O/石橋 素 [日本]

※アーカイブ映像の展示を予定。



©Yaskawa Electric Corporation

第19回エンターテインメント部門
審査委員会推薦作品

YASKAWA BUSHIDO PROJECT /
industrial robot vs sword master
映像作品

『YASKAWA BUSHIDO PROJECT』
制作チーム(代表:阿部 光史) [日本]



© 2018 INDUSTRIAL JP

第21回エンターテインメント部門
優秀賞

INDUSTRIAL JP
映像/音響作品

INDUSTRIAL JP [日本]

主な展示作品(予定)



© WATASHIHA Inc.

第23回 エンターテインメント部門 優秀賞

大喜利AI&千原エンジニア
アプリケーション、映像作品

『大喜利AI&千原エンジニア』制作チーム
(代表：竹之内 大輔) [日本]



© Nara University

第23回エンターテインメント部門 新人賞

Buddience
仏像の顔貌を科学する
Webサイト

赤松 卓太／露木 卓也／竜沢 賢吾／尾崎 風椰
[日本]



© TAIYO KIKAKU Co., Ltd. / EXPJ, Ltd.

第23回アニメーション部門 優秀賞

ごん
短編アニメーション

八代 健志 [日本]

※メイキング映像・トレーラーを上映予定。

主な展示作品(予定)



© 2018 Nekonigashi Inc.

第23回アニメーション部門 優秀賞

ある日本の絵描き少年
短編アニメーション

川尻 将由 [日本]



第23回アニメーション部門 新人賞

向かうねずみ
短編アニメーション

築地 のはら [日本]



© 2019 CHENG Jialin / Tokyo Zokei University

第23回アニメーション部門 新人賞

浴場の象
短編アニメーション

CHENG Jialin [中国]

主な展示作品(予定)



© Shimada Toranosuke

第23回 マンガ部門
大賞

ロボ・サピエンス前史

島田 虎之介 [日本]

劇場アニメーション上映会(予定)



© 2019 Daisuke Igarashi・Shogakukan / “Children of the Sea” Committee

第23回アニメーション部門
大賞

海獣の子供
劇場アニメーション

渡辺 歩 [日本]



© Kabaneri Committee

第23回アニメーション部門
審査委員会推薦作品

甲鉄城のカバネリ 海門決戦
劇場アニメーション

荒木 哲郎 [日本]



©森見登美彦・KADOKAWA/ナカメの会

第21回アニメーション部門
審査委員会推薦作品

夜は短し歩けよ乙女
劇場アニメーション

湯浅 政明 [日本]

会場案内

メイン会場：作品展示・映像上映

旧大連航路上屋

住所：北九州市門司区西海岸1-3-5

時間：10:00～17:00

観覧料：無料

レトロな近代建築からなる日本遺産構成文化財の意匠を残す文化的な建物を拠点に、最新の優れた芸術と交わる接点を創り出します。



2階	ホール	メディア芸術祭受賞作品展示
1階	多目的室 B	上映・トークイベント
1階	多目的室 A-2	メディア芸術祭受賞作品展示

連携企画

北九州市漫画ミュージアム

文化庁メディア芸術祭マンガ部門と連動した閲覧コーナーを設置します。

住所：北九州市小倉北区浅野2-14-5

あるあるCity 5,6F

時間：11:00～19:00

※入館は閉館の30分前まで

※休館日 毎週火曜日

常設展示入館料：一般	480円
中高生	240円
小学生	120円
小学生未満	無料



文化庁メディア芸術祭とは

文化庁メディア芸術祭はアート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門において優れた作品を顕彰するとともに、受賞作品の鑑賞機会を提供するメディア芸術の総合フェスティバルです。

平成9年度（1997年）の開催以来、高い芸術性と創造性をもつ優れたメディア芸術作品を顕彰するとともに、受賞作品の展示・上映や、シンポジウム等の関連イベントを実施する受賞作品展を開催しています。